

ヤマハ発動機スポーツ振興財団スポーツチャレンジ賞
記念シンポジウム

「女性アスリートの健康」を考える

参加費 / 無料

【特別講演】

先着：100名

能瀬 さやか 氏

ハイパフォーマンススポーツセンター 国立スポーツ科学センター
スポーツ医学・研究部 スポーツクリニック 婦人科

↓ 申込みQR



【パネリスト】

伊藤 華英 氏

競泳元日本代表
一般社団法人スポーツを止めるな 理事

河合 純一 氏

公益財団法人日本パラスポーツ協会
日本パラリンピック委員会 委員長

高橋 昌彦 氏

日本郵政グループ女子陸上部 監督

【モデレーター】

伊坂 忠夫 氏

学校法人立命館 副総長、立命館大学副学長
立命館大学 スポーツ健康科学部教授
当財団 理事・審査委員長

<https://www.ymfs.jp/prize/entry/>

申込み締切：5/29（月）

※定員に達し次第、締め切ります

2023年6月2日（金）

14:30～16:30

（14:00 受付開始）

会場：御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター sola city Hall 【East】
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4-6

主催：公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団

14:30~14:35

開会挨拶

14:35~14:55

【特別講演】
女性スポーツ医学の知見や女性アスリートへの啓発が
一般女性全体のヘルスケア向上につながる



能瀬 さやか 氏

ハイパフォーマンススポーツセンター 国立スポーツ科学センター
スポーツ医学・研究部 スポーツクリニック 婦人科

日本産科婦人科学会専門医、日本産科婦人科学会指導医、日本生殖医学会生殖医療専門医
日本スポーツ協会公認スポーツドクター、日本パラスポーツ協会公認パラスポーツ医、
日本女性医学学会女性ヘルスケア専門医、医学博士

月経困難症に代表される月経随伴症状や無月経等は、女性アスリートに限定される問題ではない。女性アスリートを啓発することで、女性全体のヘルスケアにつなげていくことがこのチャレンジの最終的な目標である。月経や妊娠・出産等の女性特有の問題は、コンディションやパフォーマンスに影響を与えるため、女性アスリートにとって重要な課題である。これらの問題が、競技と向き合う上での不安要素や障害予防のリスクを高める要因とならないよう、医学的データを提示しながらサポートを継続していきたい。また、スポーツ界と医学の分野の専門家やアスリートに関わる多職種が連携をとる体制が望ましく、両分野に関わる立場としてこれらの体制の構築に向けた取り組みを行ってきたい。本講演では、これまで実施してきたアスリートやパラアスリートに関する女性特有の問題に対する調査結果と支援体制の構築に向けた取り組みについて紹介したい。

15:00~16:05

【パネルディスカッション】

- ①登壇者紹介 /テーマ進行説明
- ②登壇者パネルディスカッション
- ③フロアを交えての意見交換
- ④今後の展望
- ⑤まとめ

【登壇者】

モデレーター



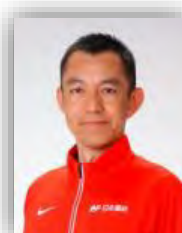
能瀬さやか氏



伊藤華英氏



河合純一氏



高橋昌彦氏



伊坂忠夫氏

※オンライン配信はございません。

www.ymfs.jp

公益財団法人 ヤマハ発動機スポーツ振興財団 (YMFS)

〒438-8501 静岡県磐田市新員 2500
TEL: 0538-32-9827 FAX: 0538-32-1112

Yamaha Motor Foundation for Sports (YMFS)

2500 Shingai, Iwata, Shizuoka, 438-8501 Japan
Tel: +81 538 32 9827 Fax: +81 538 32 1112